

計算基礎書

事業所名
代表者氏名

償 還	1年目	2年目	3年目	4年目
対象年度	令和〇〇年度	令和〇〇年度	令和〇〇年度	令和〇〇年度
対象期間	〇/〇～12/31	1/1～12/31	1/1～12/31	1/1～〇/〇
借換え	借換え無し	借換え無し	借換え無し	借換え無し
申請状況 (○、×)				

① 借 入 金 額		
② 借 入 金 利 率		※1
③ 対 象 事 業 費		実際に事業に投資した額
④ 対 象 事 業 費 割 合	0.00%	③÷①(下2桁まで記入) ※2 (100%以上の場合は、100%とする)
⑤ 借 入 れ 期 間		融資年月日から最終償還日までの期間
⑥ 利 子 補 給 対 象 期 間		事業完了後第1回償還日から3年間となる期間 ※3
⑦ 今回申請額の対象となる借入期間	1日間	1月1日から12月31日までのうち、今回申請額の対象となる借入期間
⑧ 支 払 利 子 額		⑦の期間のうち、支払った利子額 ※4
⑨ 利 子 補 給 対 象 額	0 円	⑧×④×40%
⑩ 利 子 補 給 申 請 額	0 円	上限20万円

※1②が5%以上の場合は、5%で別途計算する。⑧＝(⑧×5%／②)1年目から利率の変更があった場合は、変更を書き残すこと。(例:3.5%→3.0%→3.4%)
※2複数の融資を受けている場合は、③÷借入金額の総額とする。借換新規の場合は別途計算。
※3事業完了後の第1回償還日(金融機関が発行する償還表における)が休日の場合には、実際の支払日を第1回償還日とする。
※4借換継続の場合は、以前の償還表の利子支払予定額をもって申請者が支払った利子額とする。但し金融機関の支払証明書は借換え初年度は借換え前後の2通を必要とする(借換え後は借換え後の支払証明書が必要)。

※複数の融資を受けている場合には、それぞれの融資毎に計算基礎書を作成し、⑩の合計額を利子補給対象額とする。但し⑩の合計額が20万円を超える場合は20万円を申請額とする。